

Title	所長あいさつ
Sub Title	
Author	重野, 寛(Shigeno, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2020
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC review Keio University). Vol.7, No.1 (2020. 3) ,p.8- 9
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 DMC研究センターシンポジウム第9回「大学教育のミライ： オープンエデュケーションのその先へ」これからのMOOCの話しよう 開催日時：2019年11月20日(水) 14:00～19:00 開催場所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎2F大会議室
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000007-0008

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所長あいさつ

重野 寛

(慶應義塾大学 DMC 研究センター所長／

理工学部教授)

ただいまご紹介にあずかりました、デジタルメディアコンテンツ統合研究センターの所長を務めております重野と申します。

DMC では、さまざまな研究やプロジェクトを遂行して活動してまいりました。特に大きなところでは、アナログとデジタルの融合による、ミュージアムシステムの研究で、MoSaIC プロジェクトと呼んでおります。長年、このプロジェクトを推進しておりまして、世界中のデジタル文化資源に研究者や観賞される方の独自の見方、コンテキストを与えて、展示スペースを作ることを可能にしようと取り組んでまいりました。

また一方で、今日の主たるテーマである、教育、特にオンライン講義の配信ということにも取り組んでおります。DMC では FutureLearn におけるオンライン講義配信に取り組んでおります。この FutureLearn というのは、英国ロンドンに本部を置く、無料のオンライン講義配信事業体で、慶應義塾として、この事業に参加しております。具体的な業務については、DMC が担ってまいりました。まずは、オンライン講義の配信ということが業務になりますが、それに関連して、学習のデザイン、すなわち、ラーニング

デザインに関する研究も推進しております。



慶應義塾の研究や学びというものを、世界に発信するというのも一つの目的でありますし、また義塾が保有しておりますさまざまな貴重書、芸術作品等のアーカイブを通じて、義塾のあるいは日本の文化の発信ということにも貢献したいと考えて、このような活動を進めております。

さて、今回のシンポジウムのテーマは、『大学教育のミライ オープンエデュケーションのその先へ』というテーマを掲げて開催しております。『ミライ』というのは、カタカナになっておりまして、漢字の「未来」でもないし、ひらがなの「みらい」でもないし、カタカナの「ミライ」だねということ、大川先生とお話しながら決めさせていただきました。大学教育というのは非常に多面的な要素がありまして、誰かが一つの視点で語ることはできないと思っております。しかし、われわれが経験してきたオープンエデュケーション、オンライン講義配信というコンテキストを通して、新しい教育のあり方、あるいはこれまでの教育のあり方

というものを、あらためて議論できればと思っております。

ご講演とパネルに加えて、本会場の奥、あるいは本会場を出た所にも展示をご用意いたしました。特に会場奥では、FutureLearn に関する展示をしております。また、ホワイエでは MoSaIC など、DMC の活動に関連する展示をしております。セッションの合間、休み時間等に、ぜひご覧いただきまして、意見交換等させていただければと思います。短い時間ではありますが、ぜひ最後までお付き合いいただきまして、有意義なシンポジウムとなるようお願いしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。